

令和4年度

事業報告書

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

令和4年度事業報告

令和2年1月に国内で初めて感染者が報告された新型コロナウイルス感染症は、3年余の長期に渡り県民生活に大きな影響を与えてきたが、行動制限等も徐々に緩和され本年5月には感染症法上の位置づけが「2類相当」から「5類」に変更される等、漸く収束の兆しが見え始めている。

こうした中、健診事業では、引き続き三密の回避やマスク着用、また、定期的な室内換気や手指消毒等「健診実施時における感染拡大予防ガイドライン」に基づく感染防止対策を徹底しつつ、継続的・安定的に事業を実施するとともに、啓発事業では動画配信等も取り入れ効果的な情報を発信する等、「県民の総合的な健康づくりのパートナー」を目指して、兵庫県や関係団体と連携のもと、各事業を推進した。

1 健康づくり実践活動の支援

個人の努力とあわせて社会全体で健康づくりを支援する「健康ひょうご21県民運動」を推進するため、参画団体や健康づくり推進員等と協働し、健康づくりの基盤となる健康チェックの実践、生活習慣の見直し等の健康づくり運動を県内全域で展開した。

また、より多くの県民に向けて健康づくりに係る情報を効果的に発信するため、講演会等の事業を集客と動画配信との両面で実施する等、コロナ禍においても県民の健康づくりが積極的に実践されるよう努めた。

また、企業の従業員や家族及び幼稚園等の幼児や保護者への啓発事業を展開し、県民総ぐるみの健康づくりを推進した。

2 疾病予防等の普及啓発

県民の健康づくりに関する有用な情報や、財団の事業内容を広く県民に紹介するため、広報紙「プレベ」やホームページによる広報活動を実施した。また、3年ぶりに対面でがん・生活習慣病講演会を開催し動画配信したほか、DVDの貸出し及びポスター掲示やWEB広告によるキャンペーン事業等の啓発活動を行うとともに、健康づくりや疾病予防の各分野における功労者の表彰を行った。

また、がん等の医療に携わる専門職が行う研究を奨励し、医療技術の向上の支援に努めた。

3 健診・生活習慣等改善指導の実施及び調査研究の推進

受診者の視点に立った「安全・安心でかつサービスの行き届いた健康診断」を提供するため、健診精度の維持・向上に努めつつ、県内全域で健診事業・保健指導事業を実施した。

また、五色県民健康村健康道場では、前年度に引き続き 3 人部屋、5 人部屋をシングルユースとするなど、三密を回避したうえで県民のこころと身体の健康づくりを支援する実践施設として事業を実施した。

さらに、県内の公衆衛生の向上に寄与するため、健診や生活習慣改善指導事業等の実施状況及び精密検査受診者の追跡調査により得られたデータを集計し、「事業年報」として情報発信するとともに、県内のがん罹患情報を収集し、兵庫県のがん予防対策の基礎資料として活用を図った。

令和4年度事業体系

(人件費・減価償却費を除く)



I 健康づくり実践活動の支援

1 健康ひょうご 21 県民運動の推進

(1) 総合的な推進

① 健康ひょうご 21 県民運動推進会議総会等の開催（県補助事業）

重点活動目標や事業計画を決定し、健康づくりの普及・実践を促進するため総会を開催するとともに、全県の事業実施状況の共有と次年度の目標等を検討するため、各部長及び地域会議会長等による合同会議を開催した。

ア 総 会 令和4年6月2日（木）

イ 合同会議 令和5年3月（書面開催）

② 健康ひょうご 21 県民運動推進フォーラムの開催

全県の参画団体を含め広く県民に参加を呼びかけ、県民行動指標を確認し、健康づくりの普及・実践を促進するため、健康ひょうご 21 県民運動推進フォーラムを開催した。

開催日・場所	内 容	参加人数
6月2日（木） 神戸市産業 振興センター	<ul style="list-style-type: none"> 健康づくり等に関する表彰 ミニ講話「県民運動で分かった認知症も防げる食べ方上手」 健康ひょうご 21 県民運動推進会議会長 家森 幸男 講演「10歳若返る！『インターバル速歩』－コロナに負けない体づくり－」 信州大学医学部特任教授 能勢 博 氏 	214人

③ 健康ひょうご 21 県民運動地域会議総会（県補助事業）

地 域	開催日・場所	内 容	参加人数
阪神南	7月28日（木） 尼崎商工会議所	<ul style="list-style-type: none"> 講演「子どもたちの脳と心を健やかに育む食育」 神戸女子短期大学食物栄養学科教授 平野 直美 氏 	69人
阪神北	6月17日（金） 宝塚市商工会議所	<ul style="list-style-type: none"> 講演「こころとかがの免疫力アップ～今日から簡単にできること～」 むくみ専門・ヨガ教室フルージュ 天井 紀代美 氏 	77人
東播磨	6月30日（木） ウェルネージかこがわ	<ul style="list-style-type: none"> 講演「オーラルフレイルを防いで、健康を味わおう」 一般社団法人播磨歯科医師会 橋本 誠一 氏 	73人
北播磨	6月22日（水） 加西市民会館	<ul style="list-style-type: none"> 講演「長生きのしかた～フレイル予防と健康長寿～」 西脇市立西脇病院診療局長 来住 稔 氏 	103人
中播磨	6月23日（木） 姫路市医師会館	<ul style="list-style-type: none"> 講演「Withコロナ時代の健康づくり～免疫力を上げる食事法～」 健康ひょうご 21 県民運動推進会議会長 家森 幸男 	66人
西播磨	6月23日（木） 西播磨文化会館	<ul style="list-style-type: none"> 講演「+10分（プラス・テン）でいきいきした毎日を」 （公財）神戸YMCAコーディネーター 竹内 尚美 氏 	129人
但馬	7月15日（金） 兵庫県立但馬長寿の郷	<ul style="list-style-type: none"> 講演「COPDという病気をしていますか？」 豊岡健康福祉事務所 伊地智 菜月 氏 講演「コロナ禍でより明確になった身体活動と睡眠の関係」 健康運動指導士 亀澤 徹郎 氏 	56人
丹波	6月30日（木） 丹波篠山市民センター	<ul style="list-style-type: none"> 講演「+10分（プラス・テン）でいきいきした毎日を」 （公財）神戸YMCAコーディネーター 竹内 尚美 氏 	97人
淡路	7月14日（木） 洲本総合庁舎	<ul style="list-style-type: none"> 講演「食事でできる健康づくり！～コロナに負けない明日のために～」 健康ひょうご 21 県民運動推進会議会長 家森 幸男 	114人
計		9地域	784人

※各々、講演後に全員で健康体操を実施。

④ 健康づくり推進員の設置・養成（県補助事業）

ア 健康づくり推進員の設置・養成

健康づくりの担い手を養成するため、県民運動参画団体から推薦を受けた人を対象に「健康づくり推進員支援ガイド」を活用した研修等を実施し、修了者に健康づくり推進員を委嘱した。

・健康づくり推進員 1,655人（うち、新任者数 208人） R5.4.1現在

イ 健康づくり推進員フォローアップ研修会等の開催

健康づくり推進員の資質向上を図るとともに、活動に関する意見交換や推進員相互の交流を促進するため、フォローアップ研修会等を開催した。

【全県】

開催日・場所	内 容	参加人数
10月20日(木) 神戸ポートピアホテル	・講話「大豆のふるさと 貴州省 貴陽」 健康ひょうご21県民運動推進会議会長 家森 幸男 ・講話「中国貴陽の長寿食を楽しもう～貴陽の味を取り入れた大豆の食べ方提案～」 ポートピアホテル聚景園料理長 佐藤 幸治 氏	57人
2月17日(金) 兵庫県医師会館	「がん・生活習慣病講演会」 ・講演Ⅰ 「人はがんとどう向き合うか？」 (公財)日本対がん協会 会長 垣添 忠生 氏 ・講演Ⅱ 「心の健康」を知ろう！～With コロナの今～」 医療法人山西会三田西病院 院長 藤田 宏史 氏	136人
計	2回	193人

【地域】

地 域	開催日・場所	内 容	参加人数
阪神南	12月8日(木) 西宮市民会館	・講演「認知症予防と生活習慣」 NPO法人認知症予防サポートネット理事長 福田 章 氏	47人
阪神北	12月8日(木) 東りいたみホール	・講演「タバコと健康～みんなで目指す たばこゼロ～」 宝塚健康福祉事務所 藤井 萌加 氏	49人
東播磨	10月6日(木) 明石市立西部市民会館	・講演「ユーモアと笑いで健康に(落語)」 天満家 新笑 氏	55人
北播磨	11月30日(水) 兵庫県社総合庁舎	・講演「健康は規則正しい生活リズム、良い睡眠から」 神戸常盤大学教授 塩谷 英之 氏	51人
中播磨	11月21日(月) 市川町文化センター	・講演「With コロナの時代におけるメンタルヘルス」 兵庫県精神保健福祉センター 中谷 恭子 氏	54人
西播磨	11月28日(月) たつの市新宮 ふれあい福祉会館	・講演「生涯を通じた健口(と健食)から健康へ」 龍野健康福祉事務所 味木 和喜子 氏 ・講演「最新 大人の健口管理」 兵庫県保健医療部健康増進課 岩下 亜未 氏	99人
但馬	11月30日(水) 県立但馬文教府 ふるさと交流館	・講演「お口と歯の健康最前線！食べて元気に！～オラルヘルス予防～」 養父市大屋診療所 砂治 國隆 氏 ・講演「健康づくりから育む 地域の元気～いくつになっても笑って、楽しく、格好よく～」 豊岡市健康福祉部 健康増進課 上田 有可 氏	42人
丹波	11月24日(木) 丹波の森公苑	・講演「コロナにおける音楽の有用性～音楽を使ってリフレッシュしましょう～」 音楽療法士 梅谷 浩子 氏	52人
淡路	10月27日(木) 洲本総合庁舎	・講演「身体が心が嬉しくなるウエルネス」 頌栄短期大学学長 柳本 有 二 氏 ・講演「かみかみ100歳体操」 淡路市役所健康増進課 小河 裕子 氏	75人
計		9地域	524人

※各々、講演後に全員で健康体操を実施。

ウ 健康づくり推進員による実践活動

健康づくりの普及や実践活動を展開したほか、幼児の保護者等に対する調理実習など、食の健康運動の推進活動を行った。

内 容	取組件数	延参加人数
健康づくりの普及・実践活動	33,347 件	384,075 人
食の健康運動	2,067 件	44,643 人

⑤ 参画団体の活動支援

ア 健康マイプラン実践講座（県補助事業）

県民運動参画団体等が実施する健康づくりの講演会や研修会等に登録講師を派遣し、参画団体等における健康づくりの実践を支援した。

派遣回数	参加人数
55 回	3,140 人

イ 地域実践活動への助成

県民運動参画団体等が行う健康づくり実践活動に助成し、県民の健康づくりの実践活動を支援した。

地 域	神戸	阪神南	阪神北	中播磨	但馬	丹波	計
件 数 (件)	2	4	3	3	2	5	19
助成額(千円)	73	114	140	150	47	240	764

(2) 食の健康運動の推進

① 食の健康運動リーダーの設置

各地域において食の健康運動リーダーによる食の健康運動を推進した。

② 食生活改善事業の実施（働き盛り世代への SNS を使った情報発信）

「働く人の簡単ヘルシーごはん」と題し、健康テーマに応じた料理レシピや調理方法、栄養のポイントの他、季節に応じた健康情報等を定期的にインスタグラムで配信した。令和4年8月～ 16回

③ 食育コンサートの開催

幼稚園・保育所等の幼児や保護者等を対象に、「大豆のうた」や踊り等を通じて、規則正しくバランスのとれた食生活の大切さ、栄養豊富な野菜や大豆摂取の重要性などを啓発するとともに、歯みがき指導による歯及び口腔の健康づくりの普及・啓発を実施した。

地域	開催日	実 施 団 体	参加（人）		
			園児等	保護者等	合計
神戸	10月13日	神戸市立兵庫くすのき幼稚園	83	17	100
阪神南	10月21日	芦屋市立精道こども園	152	30	182
阪神北	9月2日	仁川ウエル保育園	40	5	45
東播磨	9月16日	播磨町立蓮池幼稚園	127	19	146
北播磨	10月25日	キッズランドやちよ	96	20	116
中播磨	9月8日	認定こども園やながせ保育園	48	4	52
西播磨	11月11日	宍粟市立はりま一宮こども園	61	20	81
但馬	9月9日	枚田みのり保育園	97	20	117
丹波	11月2日	認定こども園ミライズにじ	103	20	123
淡路	10月11日	南あわじ市立市こども園	151	29	180
計		10 回	958	184	1,142

(3) からだの健康づくりの推進（県補助事業）

メタボリックシンドロームやロコモティブシンドロームの予防及び運動の習慣化を促進するため、今より10分多く毎日からだを動かす+10分（プラス・テン）、「“脱”座りすぎ生活」の啓発等を図り、からだの健康づくりを推進した。

学習会開催回数	参加人数
24回	1,731人

(4) たばこ対策の推進

「受動喫煙の防止等に関する条例」の趣旨を踏まえ、広報資材の配付、研修会等を通じて、たばこによる健康への悪影響、COPDなどの啓発、妊産婦や未成年の喫煙防止等を推進した。

研修会開催回数	参加人数
10回	723人

(5) 歯及び口腔の健康づくりの推進（県委託事業）

8020運動推進員による啓発活動をはじめ、各種講演会や啓発資材の配付等を通じて、乳幼児期・学齢期・成人期・高齢期のう蝕予防や歯周病予防、歯の喪失防止に向けた8020運動を推進した。

研修会開催回数	参加人数
7回	479人

(6) こころの健康づくりの推進

コロナストレスやこころの不調の予防、認知症予防、適切な睡眠促進等のため、こころの健康づくり実践講座等を実施した。

実践講座等実施回数	参加人数
18回	855人

2 実践支援及び情報発信

(1) 講師派遣による実践支援

市町、地域団体、事業所等が実施する健康づくり教室、イベント等に、当財団の専門スタッフ（健康運動指導士、管理栄養士、保健師等）を講師として派遣し、講演や実技指導を実施した。

派遣回数	指導延人数
16回	1,020人

(2) 健康づくりチャレンジ企業への情報発信

兵庫県と締結した「健康づくり応援協定」に基づき、積極的に従業員や家族の健康づくりに取り組む「健康づくりチャレンジ企業」に対し、メールマガジンの定期発行（9回）や財団ホームページでの健康情報の提供を行った。

(3) 親と子の健康づくりの普及推進（母子衛生研究会委託事業）

妊娠、出産、育児等に関する知識と実践の普及を図るため、初めて子どもを持つ夫婦を対象に、西宮市との共催により育児セミナーを開催した。

- ・開催回数・参加人数 4回 545名
- ・場所 なるお文化ホール

II 疾病予防等の普及啓発

1 普及啓発活動の推進

(1) 広報の実施

① 広報誌「プレベ」の発行

健康づくりに関する情報等の発信や財団事業を効果的に広報するため、広報誌「プレベ」を作成し、関係機関を通じ広く県民に配布した。

- ・発行時期 9月・3月（計2回）
- ・発行部数 18,000部
- ・配布先 行政機関、健診顧客、健康ひょうご21県民運動参画団体及び県民運動推進員、関連イベント参加者、神戸市営地下鉄各駅等

② 団体の会報、広報紙等への情報提供

医療保険者等が発行する会報や広報誌に、健康に関する情報を定期的に掲載することにより、県民の健康づくりを支援した。

- ・2団体 延べ4回掲載

③ ホームページによる情報発信

スマートフォンにも対応したホームページにより、人間ドックメニューの紹介や講演会等のイベント開催、健康コラムの掲載等、財団の事業内容や健康づくりに役立つ情報を発信した。

(2) がん予防の啓発

① がん征圧月間行事の実施

がん征圧月間（9月）の期間中、広く県民に意識啓発を行った。

ア ポスターによる普及啓発

日本対がん協会が作成した「がん征圧月間ポスター」を行政機関、医療関係団体等に配布した。

イ 懸垂幕の掲示等

健康財団荒田事務所での懸垂幕の掲示、三宮センター街 BOS ビジョンにおけるデジタルサイネージ広告等を通じて征圧月間の周知を図った。

ウ がんセミナーの開催

がんについての正しい知識の普及、早期発見及び早期治療の認識を高めるため、3年ぶりに集客で開催するとともに、その講演の動画を YouTube により配信した。

開催日・場所	内 容	参加人数
9月28日(水) 神戸ポートピアホテル	講演「がんになっても幸せに生きるためには」 東京医科歯科大学 血液内科特任助教 坂下千瑞子 氏	94人 【動画視聴数】 89回

② がん・生活習慣病講演会の開催

生活習慣病予防等に関する理解を深め、健康づくりの意識を高めるため
3年ぶりに集客により実施するとともに、YouTubeによる動画配信を実施。

開催日・場所	内 容	参加人数
2月17日(金) 県医師会館	講演Ⅰ「人はがんとどう向き合うか？」 公益財団法人日本対がん協会 会長 垣添忠生 氏 講演Ⅱ「「心の健康」を知ろう！～With コロナの今～」 医療法人山西会三田西病院 院長 藤田宏史 氏	136人 【動画視聴数】 講演Ⅰ 47回 講演Ⅱ 98回

③ がん征圧寄附金募集活動等による啓発の実施

がん予防のための普及・啓発活動や、若手研究者へのがん研究助成の原資とするための寄附金を募るとともに、同活動を通じてがん検診の受診勧奨などの啓発活動を展開した。

件 数	金 額
240 件	1,279,526 円

④ がん検診啓発及びがん患者支援の実施

ア 「ピンクリボンフェスティバル」に参画し、ちらしやポスター等の配布により、乳がんの早期発見・早期診断・早期治療の大切さについて意識啓発を行った。

イ がん患者支援・がん検診啓発チャリティーイベント「リレー・フォー・ライフ」に協賛し、その活動を支援した。

実施日	会 場	内 容
6月11日(土)～12日(日)	神戸市みなとのもり公園 (ハイブリッド開催)	サバイバーウォーク
9月3日(土)～4日(日)	芦屋市川西体育館 (オンライン開催)	がん予防普及啓発

(3) 結核予防の啓発

① 結核予防週間行事の実施

結核予防週間(9月24日～30日)の期間中、結核予防について広く県民に意識啓発を行った。

ア ポスター等による普及啓発

結核予防会が作成したポスターやパンフレット等(計13,460部)を婦人会、医療機関、地方公共団体等に配布した。

イ 懸垂幕の掲示等

健康財団荒田事務所に懸垂幕を掲示し、予防週間の周知を図った。

また、三宮センター街 BOS ビジョンのデジタルサイネージ広告に加え、財団HP、健康ひょうご21県民運動ポータルを活用した啓発を行った。

ウ 結核セミナーの開催

結核についての正しい知識の普及を図るため、3年ぶりに集客で開催するとともに、その講演の動画をYouTubeにより配信した

開催日・場所	内 容	参加人数
9月28日(水) 神戸ポートピアホテル	講演「一緒に考えよう！結核症の発病予防のためにできること」 結核予防会事業部 星野 豊 氏	94人 【動画視聴数】 95回

② 複十字シール運動募金活動等による普及啓発

結核の征圧及びその他胸部疾患の予防を目的とした募金活動を通じ、結核等に理解を深める啓発活動を、関係団体の支援を得て実施した。

件数	金額
192件	1,438,853円

③ 出版物の斡旋

結核に関する正しい知識の普及を図るため、結核予防会発行の各種専門図書を保健所・病院・個人等に広く斡旋した。

・斡旋数 13種類 371冊

(4) 疾病予防等に関する功労者の表彰

多年にわたり、公衆衛生の向上に資する事業の推進に貢献し、その功績が顕著な個人、団体を表彰した。

① がん予防功労者

氏名	職種	推薦団体
石田 義裕	医師	明石市医師会
井上 健次郎	医師	神戸市須磨区医師会
宮内 啓輔	医師	尼崎市医師会

② 結核予防功労者

推薦なし

③ 健康づくり功労者

[個人]

氏名	職種	推薦団体
掛 嘉春	一般	洲本市
中野 稔雄	医師	姫路市医師会
濱 久友	歯科医師	兵庫県歯科医師会
二神 眞由美	歯科衛生士	兵庫県歯科衛生士会

[団体]

団体名	推薦団体
豊岡高年クラブ連合会	豊岡市老人クラブ連合会

④ 母子保健功労者

氏名	職種	推薦団体
乾 幸治	医師	伊丹市医師会
仁木 健雄	医師	神戸市長田区医師会
益子 和久	医師	神戸市須磨区医師会
山本 城太	医師	たつの市・揖保郡医師会
本田 利江子	助産師	兵庫県助産師会

(5) 臓器移植の推進

① いのちの勉強会の開催（県補助事業）

臓器移植医療に関する正しい知識の普及・啓発と、臓器移植の一層の定着・推進を図るため、講演を収録・DVD化し看護系学校（8校）へ貸出した。

テーマ「LIVING WILL」～臓器提供を考える～

② 臓器移植希望者への支援（県補助事業）

臓器移植希望者の経済的負担を軽減するため、希望者の組織適合検査に要した経費の一部を助成（61件 610,000円）した。

③ 骨髄移植及びさい帯血移植の普及推進

骨髄移植の普及を図るため、骨髄ドナー登録啓発資材をドナー登録会等で活用した。

(6) 献血の促進

献血の推進を図るため、啓発資材を献血会場等で活用した。

2 専門的研究の奨励

(1) がん・腎疾患の専門的研究の奨励

がん及び腎疾患の予防と診断・治療に役立つ専門的研究の進展に寄与するため、研究奨励賞を贈呈した。

① がん研究奨励賞（総額 180万円）

氏名	所属	研究題目
山川 康平	神戸大学大学院 医学研究科	膵癌におけるレチノイン酸レセプター γ を介したシグナルの機能解析
前田 光毅	神戸大学医学部 附属病院	治療抵抗性の泌尿器癌に対する NanaomycinK の抗腫瘍効果の検討
渡邊 麻美	兵庫県立尼崎総合 医療センター	ダウン症新生児に合併する一過性骨髄増殖症に対する高感度な遺伝子診断の開発

② 腎研究奨励賞（50万円）

氏名	所属	研究題目
藤本 卓也	神戸大学大学院医 学研究科	腎移植後サルコペニアに関連する遺伝子多型の研究

(2) 結核の専門的研究の奨励

応募なし

Ⅲ 健診・生活習慣等改善指導の実施及び調査研究の推進

1 健診・検査の実施

(1) 施設健診

特定健康診査やがん検診をはじめ、学校保健安全法、労働安全衛生法等に基づく健康診断のほか、多様化する受診者ニーズに応じた人間ドックを実施し、県民の生活習慣病の予防及び早期発見を支援した。

(実施団体数 1,855 団体)

健 診 種 別		令和 4 年度 (件)	令和 3 年度 (件)	対前年度比 (%)	
集 団 検 診	学 校 健 診	784	708	110.7	
	住 民 健 診	676	629	107.5	
	事 業 所 健 診	一般健康診断(就学・就職)	252	519	48.6
		定 期 健 康 診 断 等	15,748	15,298	102.9
	小 計	17,460	17,154	101.8	
人 間 ド ック	1 泊 2 日 人 間 ド ッ ク	107	92	116.3	
	半 日 人 間 ド ッ ク	4,873	5,084	95.8	
	兵庫県 2 時間 人 間 ド ッ ク	298	286	104.2	
	脳 ド ッ ク [再 掲]	(210)	(223)	94.2	
	P E T 検 診 [再 掲]	(14)	(11)	127.3	
	胃 内 視 鏡 検 査 [再 掲]	(3,014)	(3,102)	97.2	
	乳 腺 超 音 波 検 査 [再 掲]	(2,676)	(2,848)	94.0	
	口 腔 健 診 [再 掲]	(68)	(68)	100.0	
	レディースドック [再 掲]	(414)	(480)	86.3	
	全国健康保険協会管掌健康保険生活習慣病予防健診	8,107	8,220	98.6	
一 般 健 診	(7,749)	(7,891)	98.2		
一 般 健 診 + 付 加 健 診	(358)	(329)	108.8		
小 計	13,385	13,682	97.8		
ス ト レ ス チ ェ ッ ク	1,605	1,475	108.8		
合 計	32,450	32,311	100.4		

注 1)脳ドック～口腔健診は、人間ドックの各コースのオプション検査につき再掲。

注 2)レディースドック（再掲）は、女性専用日を利用した受診者数。

(2) 出張健診

市町や地元商工会議所・商工会との連携等により、事業所従業員や被扶養者をはじめ幅広い層を対象とした健診受診機会を提供するとともに、検査項目の追加などにより、質の高い健診を積極的に推進したほか、労働安全衛生法に基づくストレスチェックを健診時にあわせて実施した。

① 学校健診（実施校数 47校、2教育委員会）

健診種別	令和4年度(件)	令和3年度(件)	対前年度比(%)
結核検診	24,919	22,559	110.5
心臓検診	5,483	5,837	93.9
腎臓検診	15,094	15,619	96.6
診察・身体計測等	15,262	14,636	104.3
合計	60,758	58,651	103.6

② 住民健診（実施市町数 18市町）

健診種別	令和4年度(件)	令和3年度(件)	対前年度比(%)	
結核検診	64,021	61,158	104.7	
特定健康診査 (生活習慣病健診等を含む)	18,740	17,943	104.4	
心電図検査	(6,871)	(7,023)	97.8	
眼底検査	(6,051)	(5,822)	103.9	
貧血検査	(13,573)	(13,083)	103.7	
胃がん検診	22,737	22,032	103.2	
肺がん検診	60,640	57,427	105.6	
大腸がん検診	19,167	18,636	102.8	
子宮頸がん検診	13,166	12,883	102.2	
乳がん検診	視触診	1,195	1,156	103.4
	マンモグラフィ	9,056	9,152	99.0
前立腺がん検診	7,182	6,771	106.1	
骨粗鬆症検診	2,259	2,179	103.7	
肝炎検査	1,469	1,541	95.3	
腹部超音波検査	8,305	8,171	101.6	
合計	227,937	219,049	104.1	

③ 事業所健診（実施団体数 2,068 団体）

健診種別		令和4年度(件)	令和3年度(件)	対前年度比(%)
定期健康診断		107,846	106,269	101.5
特定健康診査		1,585	1,550	102.3
全国健康保険協会管掌 健康保険生活習慣病予防健診		28,190	29,162	96.7
ストレスチェック		46,766	46,203	101.2
特殊健康診断		19,931	18,457	108.0
がん・追加検診等	胃がん検診	31,283	31,565	99.1
	肺がん検診	19,961	18,871	105.8
	大腸がん検診	67,669	60,703	111.5
	子宮頸がん検診	941	1,137	82.8
	乳がん検診(マンモグラフィ)	749	590	126.9
	腹部超音波検査	12,536	12,163	103.1
合計		337,457	326,670	103.3

(3) 一般診療

診療科目	令和4年度(件)	令和3年度(件)	対前年度比(%)
内科・外科・放射線科	690	669	103.1

(4) 先天性代謝異常検査（県委託事業）

検査種別	令和4年度(件)	令和3年度(件)	対前年度比(%)
代謝異常検査	23,930	25,583	93.5
TSH(クレチン症)検査	23,610	25,207	93.7

(5) 精度向上・危機管理への取り組み

① 健診精度の向上

ア 人材の育成・職員研修の実施

財団職員の資質の向上並びに正確な検査の実施と的確な判断能力の維持・向上を図るため、職員に対する研修会を実施した。

研修会名	回数	延参加人数
職員（全体）研修会・職種別分科会	2回	712人
医師研修会	1回	31人

イ 精度管理委員会の開催

胸部、胃部、マンモグラフィ検診の読影精度及び心電図の記録・判定技術の向上を図るため、財団で読影・判定業務に従事する医師を対象に専門委員会を開催し、検診実施状況報告及び画像症例検討等を行った。

開催日	内 容	参加人数
12月22日	マンモグラフィ専門委員会	14人
2月2日	胃部エックス線画像専門委員会	23人
3月2日	胸部エックス線画像専門委員会	20人
1月18日	生理機能検査（心電図）専門委員会	7人
合 計		64人

ウ 外部精度管理評価の維持

県民に信頼される健診機関であるために、全国労働衛生団体連合会、日本医師会等による外部精度管理調査を令和4年9月～令和5年2月に受審し、精度の維持・向上を図った。

② 危機管理体制の運用

受診者が安心して安全で良質な健診を受けられる環境を整えるため、リスクマネジメント推進会議等において、健診等に関する事故やヒヤリ・ハット事例を分析し、事故の未然防止・再発防止策を検討した。

名 称	内 容	開催回数
リスクマネジメント推進会議	・ 事故内容の分析 ・ 事故防止対策の検討・提案等	12回

③ 情報処理体制の強化

健診等情報処理システムの適正な管理を行うことにより、効率的な事務処理に努めるとともに、迅速・正確かつ品質の高いサービスの提供に努めた。

(6) 計画的な車両・設備の整備

耐用年数等を考慮し策定した更新計画に基づく検診車及び医療機器等の更新整備により、健診精度の維持・向上を図った。

【主な整備内容】

・ 上部消化管ビデオスコープ	14台
・ 内視鏡機器一式	2台
・ マルチスライスCT装置	1台
・ 眼底カメラ	1台
・ 心電計	1台
・ 渉外用車両	1台
・ キャッシュレス決済用端末	2台

2 保健指導の実施

(1) 特定保健指導

特定健診の結果に基づき、生活習慣を改善し健康の保持に努める必要があるとされた者に対し、生活習慣改善のための行動目標、行動計画を設定し、健康維持のためのセルフケアができるよう継続的に支援する特定保健指導を、健診当日・事業所訪問・遠隔面接で実施した。

支援別実施実人数

	令和4年度	令和3年度	対前年度比
動機付け支援	460人	499人	92.2%
積極的支援	514人	540人	95.2%
合計	974人	1,039人	93.7%

※当該年度中に指導を開始した実人数を記載

(2) 一般保健指導

人間ドックの受診者に対し、健診当日に医師の指示に基づき生活習慣改善の必要性などについて保健指導を実施するとともに、生活習慣病重症化ハイリスク者や精密検査対象者が受療行動に移せるために受診勧奨等きめ細かなアドバイスを行い、更に、健康相談を希望する者には個別健康相談を実施した。

また、保健指導のWEB予約を財団ホームページから受付し、健診結果の見方の説明や健診結果改善のための運動や食生活などの実践的な指導を個別面接や遠隔面接で行った。

	令和4年度	令和3年度	対前年度比
実施実人数	1,470人	1,407人	104.5%

3 健康増進施設の運営

(1) 五色県民健康村健康道場の運営

① 絶食・低カロリー食療法コース（入所）

3泊4日から、7日間、11日間、16日間、20日間コースなど、入所者の希望に応じた日数設定を行い、個々のニーズや健康状態に合わせたサービスを提供した。

	令和4年度	令和3年度	対前年度比
利用者数	543人	505人	107.5%
延宿泊者数	3103人	2,998人	103.5%
平均宿泊日数	5.7日	5.9日	96.6%

② 利用促進施策の実施

ホームページの活用やメール、ツイッター及びフェイスブック等による広

報を行ったほか、インターネット健康大学の開講やリピーター割引クーポン券の発行、年末・年始営業の実施により、利用者の確保に努めた。

なお、前年度に引き続き、新型コロナウイルスの感染防止措置として3人部屋、5人部屋をシングルユースとして使用した。

ア インターネット健康大学

インターネットによる講義を開講し、「心身医学」を学ぶ機会を提供した。

イ リピーター割引クーポン券の発行

次回利用時に30%割引となるクーポン券を1人につき2枚発行した。

- ・発行枚数 1,086枚
- ・利用枚数 297枚

ウ 年末・年始営業

- ・営業日 12月29日～翌年1月3日
- ・期間中の利用者数

区 分	令和4年度	令和3年度	前年度比
入所者数	25人	23人	108.7%
延宿泊者数	145人	138人	105.1%

※延宿泊者数は、年末年始前後の期間に宿泊した日数を含む。

4 調査研究事業の推進

(1) 疾病罹患状況等の分析

健診事業及び精密検査実施状況の追跡調査により得られたデータを集計し、がん検診等の実施状況、発見がんの状況等を事業年報により発信した。

- ・発行部数 200部
- ・配布先 行政機関、医療関係団体他

(2) がん登録事業（県委託事業）

① がん罹患情報等の審査・整理・登録

県内医療機関等から提出されるがん罹患情報等の審査・整理・登録を行い、兵庫県のがん対策の企画立案及び評価の基礎資料として活用を図った。2016年（平成28年）診断症例からは、全国がん登録として実施している。

【全国がん登録】

- ・届出件数 67,210件
- ・届出医療機関数 188機関
- ・遡り調査登録件数 1,039件
- ・住所異動確認調査登録件数 1,074件

② 全国がん登録実務者研修会の開催

県内の病院及び指定診療所において全国がん登録業務に従事する者を対象として全国がん登録業務の円滑な推進を目的に「全国がん登録実務者研修会」

をオンラインにより開催した。

開催日・場所	内 容	参加人数
9月21日(水) ～10月31日(月) オンライン配信	「令和4年度 全国がん登録実務者研修会」 ・講演「全国がん登録の実務 ～ケースファインディングから品質管理まで～」 国立研究開発法人 国立がん研究センター がん対策研究所 国際政策研究部長 松田 智大 氏	視聴回数 301回

③ がん罹患報告書の作成

全国がん登録の報告書「兵庫県のがん2019」を作成し、がん罹患及び死亡の状況等について発信した。

・発行部数 600部（令和5年6月発行予定）

IV ひょうご新型コロナウイルス対策支援基金の管理

6 金融機関に開設したひょうご新型コロナウイルス対策支援基金の口座を適切に管理し、兵庫県が開催した配分委員会の決定に基づき医療機関に配分した。

【寄附金の受入・配分状況】

- ・ 令和4年度期首残高 53,538,578 円
- ・ 寄附件数・総額 127件 11,961,029 円
- ・ 配分先・金額（4 医療機関） 400,000 円（令和4年6月配分）
（振込手数料等 43,670 円）
- ・ 基金残額 65,055,937 円